

# 迎春

## ◆ 新たな半世紀への扉を



播磨町長

### 清水ひろ子

新年 明けまして おめでとうございます。

昨年は激動の年でした。人々の価値観や世界観が大きく揺れ動いた年であったように思います。東日本大震災で改めて見直された防災や安全・安心のまちづくり、TPPや子ども手当、年金の論議など政治の混迷、地域コミュニティや家族のあり方など、多くの問題・課題が提起されました。

「協働」のまちづくりを進める播磨町としても「第4次播磨町総合計画」に示された指針に沿いながら、住民の方々と思いを同じくして、さまざまな課題に取り組み、住民福祉の向上に努めたいと思っています。

播磨町は今年4月に町制施行50周年を迎えます。人口わずか9千363人だった阿閉村の頃から、この半世紀で人口3万4千人の町へと大きく発展しました。大中遺跡が発見されたのも同じく50年前のことです。

古代から引き継がれてきた播磨町の歴史に思いを馳せながら、まちの発展に尽力された先人のご功績に深く敬意を表し、新たな半世紀への扉を開けたいと思います。

そして、今年の干支である「天に昇る竜」のごとく、大きく飛躍するまちの未来を念じつつ、播磨町の発展に努めてまいりたいと思っています。



公職選挙法により、政治家は、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。  
ご理解とご協力をお願いいたします。

## ◆ 共に歩む議会 災害に強いまちに



播磨町議会議長

### 藤田 博

新年あけましておめでとうございます。皆さまにとって、私たちが暮らす播磨町にとって素晴らしい年になるようお祈り申し上げます。

私たち議会は、公平性・透明性を確保して、町民の皆さまに信頼され親しまれる議会を目指して、昨年度より議会報告と町民の皆さまとの会話の場「議会報告会」を町内4カ所のコミセンで開催してきました。今後も、町民の皆さまに身近な開かれた議会を目指してまいります。

昨年は、東日本を襲った未曾有の大地震と津波により、多くの尊い人命が奪われました。また、福島原子力発電所事故による放射能汚染は、今なお解決のめどがたたず7万人以上の人が避難生活を余儀なくされています。私たちは、可能な支援と協力により一日も早い復興を願うばかりです。

また、昨年の台風12号・15号の襲来により多くの水害が発生しましたが、播磨町においても水田川などの氾濫により浸水被害が発生しています。

自然に立ち向かうことは大変厳しいことですが、災害に対する環境整備と防御体制は緊急の課題です。私たち議会は、災害に強いまち、安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

あけまして  
おめでとう  
ございます

議長

藤田 博

副議長

宮尾 尚子

議員（議席順）

松岡 光子  
田中 久子  
宮宅 良  
山本 雅之  
神吉 史久  
奥田 俊則  
大辻 裕彦  
岡田 千賀子  
藤原 秀策  
河野 照代  
福原 隆泰  
木村 晴恵